



ひまわりぐみ



クリスマス会で楽器演奏しました♪

『きらきら星』

発表会で楽器演奏をしたことがきっかけとなり、保育室にある電子ピアノを弾きたいと『星に願いを』の覚えた部分を弾く子や『ちゅうりっぷ』の曲を弾く子、ハンドベルをやりたいという子など楽器とすっかり仲良しになっていました。そこで!! クリスマス会で演奏してはどうかと提案したところ「やりたいー!!」ということになりそれぞれのやりたい楽器を選んで『きらきら星』の曲で演奏することになりました♪



メリー



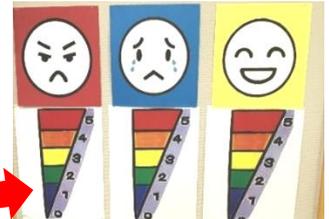
クリスマス



1/27・28・29・31 日に個別懇談を予定しています。ご希望の方は 1/10 日までに担任までお知らせください。

☆今、どんな気持ちかな? ☆

11月頃から、『ソーシャルエモショナル・ラーニング』という感情のコントロールについて考えよう! という取り組みを子ども達と一緒に進めています。「イライラした気持ち」「悲しい」気持ちなど“自分の気持ち”と“感情の強さ弱さ”をイラストで見ながら気づいていくことを重視しています。イラストは「怒り」「悲しみ」「喜び」の3つの感情を分かりやすく分類し、その感情がどのくらい強いのかを目で見て分かりやすいように保育室に掲示してみました。すると…



これなに?
 なにかなあ? なんだと思う?
 怒った顔とか泣いとる顔あるよね

おっ! よく気づいたね!!
 あっ! 分かった! 怒った顔、嬉しい顔、泣いた顔や!

子ども達の気づきには驚きでした。そこで、保育者が『怒ったこと』『嬉しかったこと』ある出来事を子ども達に話してみました。すると…



僕もうれしい話したくなってきたあ
 ○○ちゃんが遊びに来てくれて嬉しかった
 その時どれくらい嬉しかった?



「3」くらい嬉しかった
 「3」くらい嬉しかったんやね

この『嬉しい気持ち』の話をしたことがきっかけに園生活でも…

○○ちゃんが一緒のお当番でやったーって言ってきて嬉しかった☆「5」より上くらい嬉しかった

先生が園庭行ってくて言ったのが「5」くらい嬉しかった

と自分達から嬉しい気持ちになった状況と嬉しさを話すようになりました。しかし、園生活では嬉しいことばかりではありません。悲しい気持ちになった時なぜ悲しいのか? どれくらい悲しかったのか? イライラしたのはどうしてなのか? などをその都度子ども達と話し自分の感情に気付くことができるように進めていきました。

自分の気持ちを聞いてもらえた安心や嬉しさを感じ、友達の気持ちを知りたがるような姿に変化していきました。相手の気持ちに気づくことができるきっかけを作りたいと思いひまわり組で『よくあるトラブルの場面』を取り上げ、



保育者による劇を行いました。こういった取り組みを通して相手を思いやろうとする気持ちを育てていけたらいいなと思います。